

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業

— 2020年9月～11月進捗状況 —

SDGsの達成に向け、市民が環境を軸とし自分事として取り組み、千葉県内における持続可能な社会の実現を目指すために、「持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を持った担い手(ESD地域リーダー)育成事業」を、新型コロナ対策の下、2020年度も開始しました。

本事業は地球環境基金の助成を受け、3か年の事業として

1. ESD地域リーダー担い手育成事業
2. プラットホームづくりの検討
3. 本事業の広報 の3つを行っています。

3年目の今年は、千葉県南部(市原市以南)を主な対象に、市原市と南房総市の2カ所の会場で実施しています。



第1回 ESD/SDGs 理解促進公開セミナー報告

2020年9月13日の10時～12時の2時間、市原市の五井会館大ホールにて

「ESD/SDGs 理解促進のための第1回公開セミナー」が開催されました。コロナ対策のため広い会場をぜひたくに使って、33名が聴講しました。元伊豆市立天城中学校校長の大塚明先生による「持続可能な社会の作り手を育てる教育(ESD)とは～中学校の実践からSDGsとESDの関わりを含めて～」と題してのご講演でした。

まず、ほとんどの人が最初に引かかるESD(Education for Sustainable Development)の「Development」の説明から始まりました。

「開発」と直訳するとどうしても違和感をもってしまふこの言葉を、大塚先生は「担い手(創り手)を育てる」と説明なさいました。これで、あとは講演内容をすんなり落とし込むことができました。

講演の中心は、先生が天城中学校の校長先生だったときに行った「天城学習」の実践です。総合的な学習の時間を使って全校で取り組んだESD

は、地域体験に始まり地域づくりにまで発展する素晴らしいものでした。生徒たちが話し合いながら考え行動し、最後は地元の伊豆市長に提言を届け、市長がそれに応えてくれたというのです。

このESDの最大の成果は、生徒が自信を持ち、主体的に動くようになったことでした。「自分に自信をもつ(自尊感情)」というのはとてもむずかしいことですが、とても大事なことだと思いました。自分に自信を持てれば、物事に前向きに真摯に取り組むことができます。SDGs達成のためには「自分に自信を持つ」ことが非常に重要ということがよく分かりました。

アンケートでは、ESDについて「理解できた:56%、ESDに取り組むヒントが見つかった:44%、理解できなかった:0%」という評価が寄せられました。

大塚先生、どうもありがとうございました。



ESD・SDGs 理解促進公開セミナーの様子
(2020年9月13日)

第1回 ESD 地域リーダー育成事業

…参加募集結果 市原：11名 南房総：8名

■日時 9月13日(日) 13:00~16:00

■会場 五井会館大ホール(市原市)

■参加者 27名(ファシリテーター(石井雅章氏:神田外語大)、メンバー、サポーター、オブザーバー、スタッフ)

- 次第
- ・参加者自己紹介
 - ・事業説明(2018年度・2019年度の報告と2020年度の方向)
 - ・ESDモデルプログラムづくりに向けて
 - ・プログラム作り(グループワーク)

■内容 石井さんによる「ESDモデルプログラムづくりに向けて」は、SDGsやESD(学びの概念)について、パワーポイントを使ってわかりやすくご説明いただきました。その後、短い休憩(参加者同士の情報交換・交流の貴重な時間となりました)のあと、さっそくグループに分かれてプログラムづくりの始まりです。どのグループも初対面同士とは思えないくらい議論が盛り上がりました。



第1回 ESD 地域リーダー育成事業
(2020年9月13日)

第2回 ESD 地域リーダー育成事業

■日時 10月11日(日) 13:00~16:00 市原会場(サンプラザ市原)

10月19日(月) 13:00~16:00 南房総会場(とみうら元気倶楽部)

■参加者 市原会場 9名 ファシリテーター サポーター4名 スタッフ1名
南房総会場 7名 ファシリテーター サポーター4名 スタッフ1名
南房総市職員 3名視察

- 次第
- ・「ESDの視点を入れた環境学習プログラム」のポイント確認
 - ・各自の環境学習プログラムのブラッシュアップ
 - ・中間発表・個別のコメント(ファシリ、サポーター、受講生)

10月11日(日)は、市原市五井のサンプラザ市原において行われました。欠席者があったため、受講生9名、ファシリテーターの石井さんと4名のサポーターが4つのグループに分かれ、自分の活動経験を土台にしながら、プログラムに対してアドバイスや意見を述べあいました。どのグループも楽しく盛り上がり、休憩時間になっても話が尽きませんでした。

この日は現役の教師が参加して、教員の立場からプログラムを作ったり、学校の実際の状況をお話しくださしました。市民団体の方たちとも積極的な意見交換が行われ、いつもとはちょっと違う、刺激的で有意義な時間となりました。

10月19日(月)は南房総市のとみうら元気倶楽部での開催でした。環境学習のプログラムづくりという作業には慣れていらっしやらない方もいらっしやいましたが、こんなことをやりたい!という想いはとても強く、グループ・ワークは大変熱心に行われました。今年度の南房総参加者のプログラムには、とりわけ、地元を盛り立てたい、地元をもっと良くしたい、という思いが込められているように感じられます。この講座で初めて会ったという方が多かったにもかかわらず、早くもコラボの「引き合い」がいろいろ飛び出したのは、とてもうれしいビックリでした。



第2回 ESD 地域リーダー育成事業
(2020年10月11日)



第2回 ESD 地域リーダー育成事業
(2020年10月19日)

第1回プラットホームづくり会議

…参加募集結果 37名 所属団体：32

- 日時 9月7日(月) 13:00~16:00
- 会場 サンプラザ市原 多目的室
- 参加者 26名(ファシリテーター含む)
ファシリテーター：石井雅章氏(神田外語大学)
- 参加団体 24
- 次第
 - ・参加者自己紹介
 - ・事業説明(2018年度・2019年度の報告と2020年度の方角)
 - ・2020年度にやりたいこと(実験プロジェクト)+ESDプラットホームの実験的運用を具体的に進める事業像を描き、提案する

- 内容 スタートからのプラットホーム参加者から、3年目の事業は具体的な活動(実験プロジェクトを作ろう)を提案され、今年度からの参加者も加わって、プラットホームでやりたいこと等を話し合いました。
ここで出された多様な意見を活かして、共有しプロジェクトにするために、ファシリテーターが事前調査アンケートを行いました。今後はこれを基にプロジェクトを作り、実施へ、となります。

今年の参加者は行政はじめ県南部で活動されている方などで、ESDの取り組みをつなげたいなど、地域との実践活動への想いを強く感じます。自分事として関わる実験プロジェクト、わくわく・楽しく進めるようです。



第1回プラットホームづくり会議
(2020年9月7日)

第2回プラットホームづくり会議

- 日時 10月26日(月) 13:00~16:00
- 会場 サンプラザ市原 多目的室
- 参加者 23名(ファシリテーター、参加団体：22)
- 次第
 - ・実験プロジェクトグループワーク
 - ・具体的な内容(何をどうする)についてグループで進める
 - ・2020年度にやりたいこと
 - ・2021年度にやりたいこと
- 内容 実験プロジェクトグループワークについて(事前アンケート結果から4つのグループ編成をした確認をしました)

- A：ユースと考える地域課題解決のインターンシップ(ユースとの連携)企画
 - ①場を探す ②ユースとの繋がりをさがす
 - B：『自然の達人』人材バンクの構築(自然に学ぶ)企画
 - ①『自然の達人』人材バンクの構築・Web公開で達人の活用
 - ②自然観察会のプログラムをESDとして深める
 - C：100年変わっていないもの探し(教員と市民が連携したプログラム作りと実践)持続可能な社会とはどんな社会なのか考える機会とする
 - D：モデルプログラムの実践・ちばESDアーカイブス+ちばESDトライアル(プログラムの活用と発展のために)
- 以上が、実験プロジェクトグループワークの経過報告になります。
今後は、メール等で報告・連絡・相談がグループ毎に進められ、全体で情報の共有もしながら、1月25日の会議での報告が2021年の活動につながっていくこととなります。忙しいみなさんが役割分担して良い成果の出ることに期待しています。



第2回プラットホームづくり会議
(2020年10月26日)

第3回 ESD 地域リーダー育成事業

- 日 時 11月16日(月) 13:00~16:00 南房総会場(とみうら元気倶楽部)
11月29日(日) 13:00~16:00 市原会場(サンプラザ市原)
- 参加者 南房総会場 9名 ファシリテーター サポーター4名 スタッフ1名
市原会場 8名 ファシリテーター サポーター4名 スタッフ1名
- 次 第
 - ・「ESDの視点を入れた環境学習プログラム」のブラッシュアップ後(宿題)について、ファシリテーターより講評(ポイントアドバイス)
 - ・各自の環境学習プログラムの更なるブラッシュアップ(グループワーク)
*サポーター、ファシリテーターがフォローする
- 内 容 第2回のアドバイスを踏まえてブラッシュアップされたプログラムを発表しました。南房総会場では、さっそく他の人のプログラムとのコラボが取り入れられ、すぐにでもプログラムを実施できそうです。市原会場のプログラムは、取り上げている分野が広く、アートを取り入れて感性を磨くとか、収益のことまできちんと考えるなど、内容的にも充実して、すでに完成度の高いものに仕上がりがつつあります。



第3回 ESD 地域リーダー育成事業
(2020年11月16日)



第3回 ESD 地域リーダー育成事業
(2020年11月29日)

.....お知らせコーナー.....

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム2020 参加者募集

SDGs 実現に向けた人づくり~ESD 推進ネットワークがつなぐ多様な主体の連携協力~

- 日 時 2020年12月19日(土) 9:30~17:30
- 会 場 オンライン開催(お申し込みいただいた方にZoomのURLをお知らせします)
- 参加費 無料
- 参加対象 「ESD=SDGs 実現に向けた人づくり」に関わる学校・団体・企業など
- 主 催 ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省
- 詳しくは下のホームページをご覧ください。

<https://esdcenter.jp/hottopics/zenkoku-forum/>

- 申 込 専用フォームにご記入ください

<https://forms.gle/c4YffYZRW27D19ZN8>

.....

お問合せ:特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <http://kanpachiba.com/>

e-mail: info@kanpachiba.com Tel:090-8116-4633

ESD 全国フォーラム・ポスターセッション出展しています

2020年12月19日(土) 12:00~2021年1月29日

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

